

2021

2月号

つなぐ

いまこそ自分にとっての居場所で対話しよう

まちづくり講座「人とつながる まちとつながる ウィズコロナのコミュニケーション」を開催

2021年1月16日(土)、まちづくり講座を開催しました。当初は会場とオンラインの2つの参加方法を予定していましたが、緊急事態宣言の発令により、オンラインのみでの実施となりました。講師には、医師であり、ヘルスプロモーション推進センター代表の岩室紳也先生をお迎えし、約50名の参加者にむけて、新型コロナウイルスの感染リスクを減らすための工夫や、コロナ禍においてどのようにコミュニケーションをとるとよいかについてお話いただきました。

—正しい知識とつながりが必要

コロナ対策にもまずは「つながり作り」が大切だと語られました。感染のリスクを抑えつつ、生活していく上で必要なのは、リスクを正しく理解し、回避するための行動=エチケットを積み重ねていくこと。それを可能にするのがコミュニケーションによって、お互いの情報を理解し合い、お互いを信頼することだそうです。そして、「つながり作り」には居場所が必要であり、職場や学校、趣味や地域と色々あった方が良いとのことでした。



▲先生のオフィスからご講演いただきました

—対話する。そして、相手の言葉に耳を傾ける

正しい知識が必要な一方で、自分なりの正解をみつけると、それを疑うことなく人にも押しつける「正解依存症」にならないよう注意が必要とのこと。そうならないために大事なのが「対話」です。対話とは、「面と向かって声を出して言葉を交わすこと」だそうです。まずは本人の言葉に耳を傾けること、そして、例えばコロナに感染した人を責めるのではなく、「どうして感染したのでしょうか。学びたいので教えてください」と対話を重ねることが大事だと語られました。

—「感染機会」ではなくて「感染経路」の遮断、回避が大事

コロナウイルスの感染経路は、のど、鼻、目の粘膜。科学的見地から「感染経路」を遮断、回避することが大事とのこと。具体的には、エアロゾル感染予防のための排気エチケットや、飛沫感染予防のための咳・会話・調理エチケットなど、実践したい5つのエチケットについて教えていただきました。

—まわりの人とのコミュニケーションをとりながら、自分たちでできる工夫を考えよう

最後の質疑応答では、日常にある、ふと誰もが疑問に思うような質問がたくさん寄せられ、先生はひとつひとつ丁寧に答えくださいました。「訪問先でみかんを食べるときは、何に気をつければいいのか」という質問に対しては、「みかんを洗ってから食べることもできます。また、正解を探すよりも、もしみかんにウイルスがついていたらどうすればいいのか?ということ、みかんを出してくれた人と一緒に話すことが大事です」と語られました。情報を鵜呑みにせず、自分で考え、情報をまわりの人たちと共有し、みんなで考えていくことが大切であるということを改めて知る機会になりました。

市民の方をはじめ、コロナ禍で活動をためらわれている市民活動団体や自治会など地域活動をされている方にも今後の行動の指標としていただけたのではないのでしょうか。

(市民ライター 西橋友理)





想いを寄せてつながり続ける

スマイル♡こども食堂浦安



▲ 10/25(日)久しぶりの開催に笑顔がいっぱい

2018年から浦安市内で活動している、「スマイル♡こども食堂浦安」。スタート当初は毎月1回、日曜の昼間の開催でしたが、夜もやって欲しいという声にこたえ、開催地域も広げ、昼間とは別の場所で平日の夜間にも開催していました。

こども食堂は栄養のある手作りの食事の提供というのはもちろんのこと、人が集い、人がつながる場というのも大切な要素です。実際ここでも、地域の市民活動団体と協力し、歌や楽器の演奏、武道やダンスの実演などを行ってきました。また、学生ボランティアが子どもたちと一緒に勉強したり、遊んだりと色々な大人と交流できる場所でした。

ところが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年3月以降はしばらく活動をお休みせざるを得ない状況に。しかし、代表の高嶋さんはこんな時だからこそ、つながっていたい、食事も提供したいと、メンバーとともに活動の方法を探り、10・11月は弁天ふれあいの森公園でお弁当の提供という形で活動を再開されました。公園ボランティアスタッフ共に楽しそうに遊ぶ子どもたちの元気な姿を久しぶりに目にし、高嶋さんをはじめ、メンバーの皆さんもパワーをもらえたことでしょう。

そして、冬になってからは、他の市民活動団体の協力も得て、月に2回、東野パティオでお弁当を作り、持ち帰ってもらう方法で活動を続けています。12月にはお弁当に支援者から寄付されたマスク、ドライフラワー、お菓子などをクリスマスプレゼントとして添えたそうです。

どんな時でも、子どもたちのことを想う気持ちは活動のエネルギー。高嶋さんは「今後、行政と協力して必要としている家庭に、必要としている食料を届ける活動“フードパントリー”も進めていきたい」と決意を新たにされています。



▲ 50人分用意されたクリスマスのお弁当

今年こそやりたいね！ 「うらやすドキュメンタリー映画祭」

浦安ドキュメンタリーオフィス



▲ 上映後はトークセッションも開催

何となく難しそうなイメージや見る機会が少ないドキュメンタリー映画ですが、平和、貧困、環境、福祉などの社会問題をテーマとした作品には、意義深く優れたものが数多くあります。そんな秀作ドキュメンタリー映画を紹介し、身の回りの問題に関心を持ってほしいと活動している団体が、浦安ドキュメンタリーオフィスです。

みなさんは浦安で毎年映画祭が行われていることをご存じですか。これまで8回開催されており、回を追う毎に参加者も増え続け、活動が徐々に地域に浸透しています。しかし、昨年、緊急事態宣言が発令され、上映会場となる公共施設は休館、解除後も自粛ムードは続き、映画祭は中止に。

活動できない時期は、ホームページにてメンバーお薦め作品の紹介、会報発行など専ら情報発信を。そんな窮状を察してか、賛同者からは寄付の申し出があったり、会員も増えたとか。

その後もZoomによる会議は2週間に一度開かれ、会場の空き状況を絶えずチェックしながら、すぐさま上映会が開催できるよう準備しています。昨年10月、12月にはコロナ対策を万全にして上映会を開催、いずれも約100名の方が参加されました。

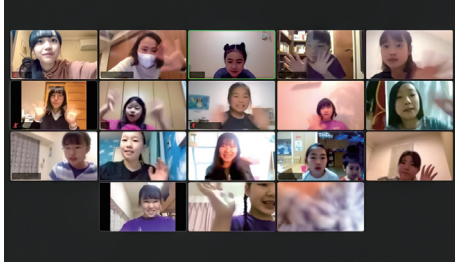
コロナ禍での上映会の開催については、「今、無理を押してまでやることなの？」「今だから、やらなくてはい！」、メンバーの意見もいろいろ。いずれにしても、その決定にはこれで良かったのかと、ずっと迷いや不安がつきまっています。2月6日開催予定の上映会は残念ながら中止に。これについても喧々諤々、何度も話し合いを重ねたとか。「でも、やっぱりやりたかった」と語るのは代表の中山さん。中山さんの頭の中は、次の上映会・映画祭の企画でいっぱいの様子。開催に向けて心からエールを贈りたいですね。

● URL <http://urayasu-doc.com/>



みんなに届けたい ミュージカルの楽しさを！ 感動を！

浦安子どもミュージカル



▲ リモートでしっかり練習中

浦安子どもミュージカルは子どもたちによるミュージカル劇団。舞台に立ち「ダンス・歌・演技」を通して表現し、感動や達成感を自らの体験とすること、子どもの情操教育を目的として活動しています。ミュージカルが好きで誰もがステージに立って、ひとつのミュージカルをみんなで協力して作り上げていく、そんなプロセスも大切にしている団体です。小学生から高校生までの子どもたちが集まり、毎年夏に開催される定期公演を目指して、レッスンに励んでいます。

このような活動を続ける中、昨年新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言発令…。公共施設の休館は、公民館を主な練習場所としている団体にとって痛手となり、終には定期公演も中止、大きな目標を失うことに。しかも、予定していた定期公演は第15回の記念公演ただけに子どもも大人も大変残念な思いだったとか。しかし、中止が決まってからというもの、何とか子どもたちを元気にしたいと劇団、講師の先生方のご厚意でリモートレッスンが始まり、ことばやダンスのレッスン、時には楽しくゲームをしたり、これまでのミュージカル劇中歌をみんなで歌ったりと、周りの大人たちのサポートがはじまりました。

そして、いよいよ次の定期公演の日程、演目も決まり、それに向けてリモートレッスンが始まった矢先、再びの緊急事態宣言でしたが、7月18日の定期公演に向けてチラシ掲載用の個人写真の撮影など、着々と準備が進んでいます。実際に顔を合わせてレッスンしたい気持ちを押さえ、今はリモートレッスンをこなし、みんなでステージに立つことを思い描きながら懸命に練習に励んでいるとのこと。今年はどうか上演できますように…。そう願わずにはられません。

- 第15回公演 ミュージカル「魔女バンパ」2021年7月18日(日)上演決定
- URL <http://urayasu-k-m.jimdo.com/>



▲ お揃いのTシャツで「はいポーズ」

ゆるやかに長く続く関係を大切に

総合公園友の会



▲ 広い公園なので手入れにたくさんの人手が必要です

浦安市総合公園は、浦安が海に近いまちということを感じさせてくれる場所。海が一望できる市内で一番広い公園です。訪れる人が気持ち良く過ごせるようにと、この公園で花壇の手入れなどの活動をされているのが、「総合公園友の会」のみなさんです。広いだけに水やりや草取りなどの作業は大変です。

ある時、公園近くのホテルのスタッフが市の大通りの掃除をしているのを見かけ、会の代表の小林純子さんは「この方たちなら、公園の活動にも参加して下さるのでは」と思い切って、ホテルにお電話されました。すると「そのような活動をされている方がいらっしゃるとは知りませんでした。宿泊のお客様も散歩に行かれる公園なので、ぜひお手伝いさせてください」と快諾いただけたそうです。11月の活動日に12人のホテルスタッフが参加し、いつもは何時間もかかる作業を1時間ほどで終わらせてくれたそうです。そして、がんばりの成果で、参加したみなさんは翌日、筋肉痛になられたとか。

「冬場はあまり草もないので、春へのウォーミングアップでポチポチ参加してくれたらと期待しています。先日参加してくれたホテルでは、スタッフによる月に1、2回の近隣清掃活動は続けるそうなので、細く長くご縁を維持出来たら嬉しいですよ」と小林さん。そして、別のホテルにも公園での活動に参加してもらえるよう、アプローチすることを計画されています。

比較的時間の取れる今、「その時間をボランティア活動に」という方も増えています。それを実際に自分たちの活動への参加につなげるには、小林さんのようにチャンスを見つけ、こちらから声をかけるのは大切です。

ご縁が広がり、活動に参加してくれる方が増え、ますます素敵な公園になっていくといいですね。



「うらやす NPO ウィーク 2021 ～市民活動に会う日～」のご案内

毎年、市民のみなさんに市民活動を広くご紹介する場として開催しているうらやすNPOウィーク。
今回はコロナ対策、3密を避けるため、1か月間、動画により市民活動団体の活動を紹介します。ぜひご覧ください！

- 期 間 3月1日(月)～31日(水)
- 方 法 動画による活動紹介
 - ※特設サイトより動画視聴できます。
 - ※市民活動センター内設置の大型モニターにて終日上映

うらやすNPOウィーク2021
特設サイト



<https://urayasu-npoweek.jimdosite.com>

「うらやす NPO ウィーク 2021 ～市民活動に会う日～」参加団体募集

申し込みについて

- 申込方法 所定のフォームにてお申し込みください。
 - 市民活動センターホームページ、特設サイトの申込フォームにて
- 提出先 市民活動センター
- 申込締切 2月21日(日)
 - ※申し込みにあたって、必ずオンライン説明会(動画)をご覧ください。

オンライン うらやすNPO
ウィーク2021 参加申込書



オンライン説明会(動画)



動画作成について

- 長 さ 2分～3分
- 保存形式 mp4形式にて保存してください。
- 内 容 団体紹介、活動紹介の他、以下の動画も応募できます。
 - 特化した事業・活動に関するもの
 - 会員募集、寄付募集
 - イベントや講座の告知
 - ※市民活動フェスティバル2020参加の動画をブラッシュアップしたものでも応募できます。
- 提出方法
 - ギガファイル便 ファイヤーストレージなど ファイル転送サービスを利用
 - センターHP特設サイト 動画提出窓口から(Googleアカウントをお持ちの方)
 - ※その他、詳細についてはセンターホームページ、特設サイト、オンライン説明会(動画)をご覧ください。

利用承認期間の満了について

市民活動センターでは利用承認に期間を設けております。現在の承認期間は、令和3年6月30日に満了となりますので、引き続き施設のご利用を希望される場合は、利用承認手続きを行っていただきますようお願いいたします。
手続きの詳細については4月中にご案内いたします。

センター日誌より

1・2月に企画していた講座は緊急事態宣言中の開催となり、オンラインのみで行いました。会場に参加予定の方もこれを機に初めてZoomにチャレンジすることになり、使い方を習いに、休館になる前日に複数の団体が来館されました。休館中の電話相談もZoomに関するものが多く、コロナ禍の中でも活動を続けようと頑張っている皆さんの様子がうかがえました。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2021年2月10日

【感染拡大防止のためのお願い】

活動の際には、引き続き、『密集』『密接』『密閉』を避け、新しい生活様式を実践し、感染予防にご協力をお願いいたします。

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)
TEL：047-305-1721 / FAX：047-305-1722
E-mail：shiminkc@jcom.home.ne.jp
URL：http://u-shimin.genki365.net